

ブレインストーム・ワークショップの事前準備について

英語版は、こちらのリンクでご確認頂けます。ワークショップお申し込みの皆様には、メールにてご案内済みのリンクです。

<http://neuroimage.usc.edu/brainstorm/WorkshopOsaka2014Install>

重要事項

MEG/EEG 記録を扱う場合、様々なコンピュータ関連の資源(処理速度、ソフトウェアなど)と大きめのディスプレイが必要になるかと思えます。そのため、かなり処理能力が高く、ディスプレイが14インチ以上のノートパソコンをご持参なさることをお勧めしております。

また、外付けマウス用にマウスパッドやその他の快適グッズをご持参ください。マウスでほとんどの操作を行いますし、スクロール操作を頻繁に行う場合もあります。マウス・ホイールやマックブックの2本指操作はこの作業に向いていますが、こういった操作が容易ではないノートパソコンもあります。

当日は、電源コードをお忘れにならないようにお願いします。

インストール手順

ワークショップ前に、ソフトウェアとチュートリアル・データセットをブレインストームのウェブサイトからダウンロードしてください(300Mb 以上あります)。セッション中のトラブル処理を効率的に行うためにも、ダウンロードしたファイルは全てデスクトップに置いて下さい。

後述のチュートリアル1ではダウンロードしたファイルをマイドキュメントに格納するよう勧めていますが、今回はワークショップ中のトラブルシューティングに備え、講師やアシスタントが皆様のノートパソコンを確認する場合にフォルダを探しやすいように、**デスクトップに置いてください**。また、フォルダは必ず3つ別々に作り、絶対に**1つにまとめない**でください。

- ① ブレインストームのダウンロード・ページでアカウント作成(登録は無料)あるいはログインする。
- ② デスクトップにフォルダを作り、以下のファイルをダウンロードする。
 - ・ブレインストーム・ソフトウェア : `brainstorm_YYMMDD.zip` (62 Mb)
 - ・チュートリアル・データセット : `sample_workshop_fullday.zip` (245 Mb)
- ③ すでにブレインストームをインストール済みの場合、**5月8日以降にリリースされたバージョン**であることを確認する(自動アップデート案内がデフォルトですが、念のためご確認ください)。
- ④ ダウンロードした2つのファイルをデスクトップに解凍する。
- ⑤ 解凍後、元の zip ファイルを削除する。
- ⑥ デスクトップに"`braisntorm_db`"という名前のフォルダを作る。
- ⑦ 最終確認: この段階で、デスクトップ上に3つのフォルダがあるはず。
 - `brainstorm3` : プログラム・フォルダ、Matlab ソースコードとコンパイラがある。
 - `brainstorm_db` : ブレインストーム・データベース (空の状態)
 - `sample_workshop_fullday` : トレーニング・セッションで使うデータセット例
- ⑧ ブレインストームを起動し、ノートパソコン上でうまく動くか確認する(以下のセクションを参照)

最初にブレインストームを実行するには

MATLAB がある場合

1. MATLAB を起動する。
2. 自動的にパスが追加されるので、MATLAB に `brainstorm3` フォルダをマニュアルで追加しないこと。
3. `brainstorm3` フォルダを選択。
4. コマンド・ウィンドウに "`brainstorm`" と打ち込む。
5. ブレインストーム・データベース・フォルダを要求されたら、先ほど作った "`brainstorm_db`" を選ぶ。

MATLAB がない場合

1. ここでの説明は、以下の OS の場合に有効。
 - ・ Windows : どのバージョンでも (詳細は英語版のこの部分にあるリンクを参照)
 - ・ Linux : Ubuntu 12.04+, RedHat 6.x, Debian 6.x, SUSE 11.3+ (詳細は英語版のこの部分にあるリンクを参照)
 - ・ MacOS : MacOSX 10.7.4+, 10.8 (Mountain Lion), 10.9 (Mavericks) (詳細は英語版のこの部分にあるリンクを参照)
 - ・ もしお使いのシステムが上記以外の場合は、MATLAB コンパイラ・ランタイムの 2012b あるいは 2013b をお試しください。英語版のこの部分にリンクあり。
2. ご自分の OS に MATLAB コンパイラ・ランタイム MCR R2014a (8.3)をダウンロードする : 英語版のこの部分に Mathworks ウェブサイト (コンパイラ・ランタイムのダウンロード・ページ) へのリンクあり。
3. MCR をインストールする :
 - ・ Windows : `.exe` ファイルをダブルクリックし、表示される手順に従う。
 - ・ Linux : ターミナルで `.zip` を解凍し、`./install` を実行する。
 - ・ MacOS : `zip` ファイルをクリックして解凍し、"`InstallForMacOSX`"をクリックする。
4. `brainstorm3/bin/R2014a` にあるプログラムを実行する。
 - ・ Windows : `brainstorm3.bat` をダブルクリックする。
 - ・ MacOS : `brainstorm3.command` をダブルクリックし、表示される手順に従う。
 - ・ Linux : ターミナルで、

```
cd brainstorm3/bin/R2014a/   および
./brainstorm3.command       を実行する。
```
5. MacOS や Linux のトラブル・シューティング :
 - ・ ターミナルで、"`brainstorm3.command`" ファイルが実行可能であることを確認する :

```
chmod a+x brainstorm3.command
```

・もし何も起きなければ、

`./brainstorm3.command MCR_DIR` を実行する。

MCR_DIR は、MCR 8.3 フォルダのこと（例：/Applications/MATLAB/MCR/v83）

・別バージョンの MCR を試す：英語版のこの部分に別バージョンへのリンクあり。

6. Linux や MacOS では、インストールした MCR があるフォルダを選択するよう求められる。

7. ブレインストーム・データベース・フォルダを要求されたら、先ほど作った "brainstorm_db" を選ぶ。

ワークショップの準備

ブレインストームがちゃんと動くことを確認して頂くとともに、もっと使い慣れて頂くために、サイト上のオンライン・チュートリアルのうち少なくとも初めの2つをお読みいただき、手順に従って実行してみられることをお勧めします（以下のチュートリアル1, 2については、近日中に日本語訳をメールにてご案内いたします）。

1. ブレインストームの構造
2. ファースト・ステップ

トラブル・シューティング

技術的な問題については、フランソワ・タデルまでご連絡ください（日本語不可）

francois.tadel@mcgill.ca

技術面以外のお問い合わせは、長尾紀久子までご連絡ください。日本語と英語で承ります。

kikuko.nagao@gmail.com